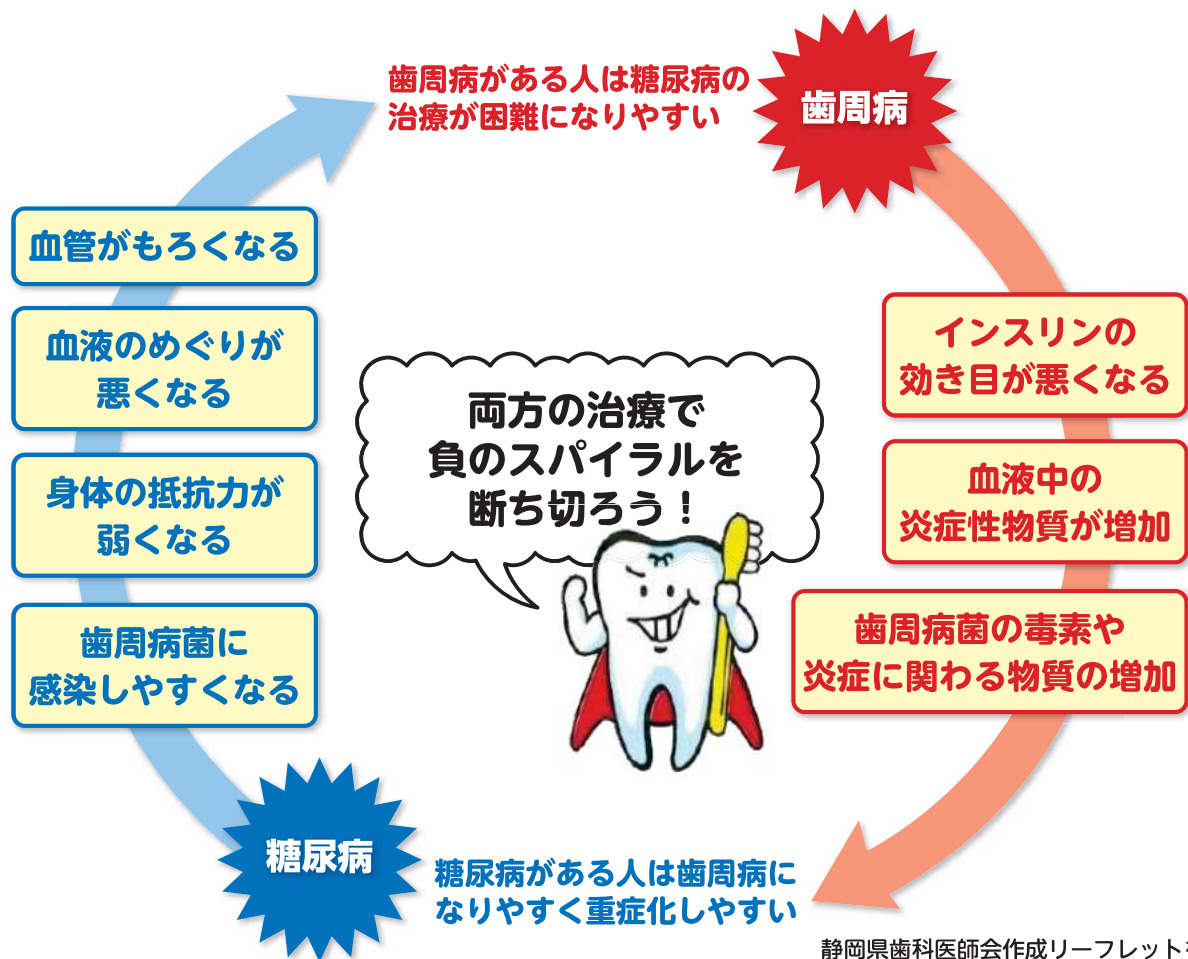


糖尿病と歯周病は、負のスパイラル

両方の病気の悪循環により、重症化する恐れがあります！



静岡県歯科医師会作成リーフレットを改変

糖尿病は、

血糖値を正常に保つインスリンの働きが悪くなり、血糖が高い状態が続く病気です。

放置すると血管の動脈硬化が進行し、合併症（網膜症、腎症、神経障害、脳卒中、心筋梗塞等）を発症します。

さらに、重症化すると人工透析や失明、足の切断等を引き起こします。

歯周病は、

歯周病菌により、歯ぐきに炎症（赤くなる、腫れる）を起こし、放置すると歯を支える骨が溶かされてしまい、歯が抜けてしまう病気です。

歯周病菌は、歯ぐきから毛細血管に侵入し、動脈硬化を進行させ、糖尿病等の生活習慣病、認知症等にも影響を及ぼします。

糖尿病も歯周病も、はじめは症状がありません。
かかっている、気づきにくい病気なので注意が必要です。



40歳以上の静岡市民の方は1年に1度（4月～翌年3月）
「歯周病検診」が受けられます。（詳しくは4ページ下段をご覧ください）